

## 第4次菊川市男女共同参画プラン 令和4年度 進捗状況

第4次菊川市男女共同参画プランでは、誰もが多様性を認め合い自分らしく輝くまち菊川を目指し、以下の4つを目標として男女共同参画事業に取り組んだ。

### 基本理念

誰もが多様性を認め合い 自分らしく輝くまち 菊川

### 基本目標

- 1.男女共同参画社会実現に向けた基盤の整備
- 2.誰もが安心できる暮らしの実現
- 3.誰もが活躍できる家庭・職場・地域の実現(ワーク・ライフ・バランスの実現)
- 4.あらゆる分野における女性の参画拡大(女性活躍のさらなる推進)

### 【事業の実施状況】

プランに位置づけた事業数	98
○(計画通り実施)	94
△(計画の一部実施)	2
×(問題があり実施できなかった)	0
-(その他)	2

### 進捗状況のまとめ

令和4年度は、第4次菊川市男女共同参画プランを策定してから、初めての進捗状況報告である。

事業進捗状況において、今年度は98事業のうち、計画通り実施できた事業が94項目、一部実施事業が2項目、問題があり実施できなかった事業が0項目、その他が2項目であった。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業もあったが、「計画の一部実施」事業が「計画通り実施」事業になるように実施方法を検討する。

指標進捗状況において、成果指標では、令和2年度数値を下回る指標があるため、引き続きプランに基づいた事業の実施が求められる。活動指標について、おおむね実施ができています。

令和5年度も引き続き、「誰もが多様性を認め合い、自分らしく輝くまち 菊川」を基本理念とし、女性の政策や方針決定過程への参画拡大につながるように、様々な施策を進めていく。

## 第4次菊川市男女共同参画プラン 令和4年度 事業進捗状況

◆計画期間: 令和4年度～令和8年度

事業実施状況(全98事業)		
(○:計画通り実施、△:計画の一部実施、×:実施できなかった、-:その他)		
○	94	事業/98事業
△	2	事業/98事業
×	0	事業/98事業
-	2	事業/98事業

### 基本目標1 男女共同参画社会実現に向けた基盤の整備

#### 基本施策(1) 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
1	幼児への男女共同参画啓発事業	地域支援課	実施希望のあった市内13園で、男女共同参画の意識啓発につながる絵本の読み聞かせを実施した。また、園長会にて男女共同参画プランについて周知した。	○	絵本の選定理由などを事前に園の先生に説明することで保育士への男女共同参画意識を併せて醸成する。
2	小学生への男女共同参画啓発事業	地域支援課	令和3年度から2年かけて市内小学校への職業講話を実施する。令和4年度は希望のあった3校で実施した。	○	学校から「職業講話」だとキャリア教育だと思うという意見があったため、名称変更予定。対象学年についても検討する。
3	中高生への男女共同参画啓発事業	子育て応援課	常葉大菊川高校と連携して保健師が高校に出向き、高校1年生～3年生で保育に関心のある生徒を対象に講話を実施した。生命誕生の講話をはじめ、赤ちゃん人形の抱っこ、おむつ交換を体験した。	○	次年度も継続して実施する。
4	固定的な性別役割分担意識にとらわれない進路指導の充実	学校教育課	「特別の教科 道徳」や、総合的な学習の時間、学級活動等で自分の将来の姿や進路について考える機会を設けた。	○	発達段階に応じて学習内容に組み込めるよう計画的に行う。
5	保護者に対する男女共同参画の意識啓発	社会教育課	家庭教育学級のプログラムのひとつとして男女共同参画に関する出前行政講座の紹介を行った。	○	実際の活動につながるよう、プログラム照会の工夫をする。
		地域支援課	小学生への職業講話において、保護者向けの資料を配布した。外国籍の保護者に向けて、英語とポルトガル語に翻訳した資料も作成した。		1学校2つの職業の講師からの講話のため、他の講師からの児童に向けたコメントをもらい、資料に添付する予定。
6	保育士等に対する男女共同参画の意識啓発	地域支援課	幼児施設連絡会にて、男女共同参画週間の啓発チラシを配布した。また、読み聞かせの実施後アンケートにより保育士の意識啓発を図った。	○	継続して実施する。絵本の選定理由などを事前に園の先生に説明することで保育士への男女共同参画意識を醸成する。
7	教職員に対する男女共同参画の意識啓発	学校教育課	研修会の中で男女共同参画について啓発を行った。	○	教職員研修を通じて男女共同参画に関する啓発を継続する。

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
8	図書館における意識啓発	図書館	男女共同参画についての資料を取集し、男女共同参画週間に合わせてパンフレット等と共に展示した。	○	次年度も同様に取り組む。
9	男女共同参画週間における啓発活動	地域支援課	市ホームページ及び各種SNSに掲載した。また、市内公共施設やイベントで啓発グッズを配布した。	○	次年度も継続して実施する。
10	男女共同参画に関するまちづくり出前行政講座の実施	地域支援課	出前行政講座の依頼がなかったため、実施できなかった。地区センターへ「男女共同参画コーナー」としてアンコンシャスバイアスについての掲示物を作成し、掲示した。	△	出前行政講座の依頼につながるように、周知・広報する。
11	男女共同参画についての情報発信	地域支援課	市ホームページ等の更新を14回行い、広報菊川1月号に男女共同参画に関する情報(静岡県パートナーシップ宣誓制度)を掲載した。	○	次年度も継続して実施する。
12	市民意識調査の実施	地域支援課	実施年度ではないので未実施。	—	令和7年度に実施予定。
13	市内事業所アンケートの実施	地域支援課	商工観光課の企業概況調査に併せて実施し、調査結果を取りまとめた。	○	回答率を上げるために実施方法等を検討する。
		商工観光課	市内企業92社を対象にアンケートを実施し、24社から回答を得た。		回答率は26%と、昨年度の44%から落ち込んだ。企業概況調査全体の設問数を減らすなどして企業の負担を減らし、回答率の向上を図る。
14	市職員を対象とした意識調査の実施	地域支援課	実施年度ではないので未実施。	—	令和5年度に実施予定。

## 基本施策(2) 多様な価値観、人権と性を尊重する意識づくり

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
15	人権を尊重し、ジェンダーの平等に配慮した表現の徹底	営業戦略課	広報菊川やSNSによる情報発信時に固定的な性別役割分担意識等に配慮した適切な表現やイラストを利用した。	○	引き続き、広報菊川やSNSによる情報発信時に固定的な性別役割分担意識等に配慮した適切な表現やイラストを利用する。
16	身体的性差、相互尊重の教育の推進	学校教育課	「特別の教科 道徳」において、男女が互いに認め、尊重することを取り上げた授業を行った。	○	発達段階に応じて学習内容に組み込めるよう計画的に行う。

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
17	人権擁護委員への男女共同参画の意識啓発	市民課	県等が主催する研修に参加し知識向上に努めた。	○	次年度も継続して実施する。
18	人権擁護委員による啓発活動	市民課	保育園・こども園・小学校で計4回の人権教室を開催し、人権の大切さを伝え、いじめや差別をなくすための啓発を行った。	○	新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を鑑みつつ、今後も積極的に人権教室を開催する。また、より人権について理解を深めて貰うための新しい啓発内容についても検討していく。
19	人権相談事業の実施	市民課	行政相談員、民生委員・児童委員と合同で、菊川地区及び小笠地区において、各月2回心配ごと相談を開催した。また、6月1日の人権擁護委員の日と、12月の人権週間に人権相談窓口を設け、相談に応じた。	○	引き続き、今年度同様他の相談員と連携しながら、心配ごと相談を行う。また、人権擁護委員の日や人権週間についても、人権相談窓口を設けて相談に応じる。
20	性別により抱える問題や悩みなどに関する相談窓口の周知	営業戦略課	広報菊川「相談窓口」に「あざれあ女性相談、男性相談」、「LGBT相談」について毎月掲載した	○	引き続き、広報菊川「相談窓口」に相談窓口を掲載する。また、広報菊川だけでなく、男女共同参画週間に合わせSNSでも相談窓口の周知をする
21	多様な性のあり方に関する正しい理解と配慮の促進	学校教育課	「特別の教科 道徳」や、総合的な学習の時間、学級活動等で考える機会を設けた。	○	発達段階に応じて学習内容に組み込めるよう計画的に行う。
		地域支援課	市ホームページや広報紙などで周知した。市職員向けに性の多様性研修を実施した。また、公文書における性別欄の見直しを実施した。		次年度も継続して実施する。
22	パートナーシップ制度についての情報収集・研究	地域支援課	病院の手続きや市営住宅の同居、メモリアルカード受領など、宣誓カードをもっている方が使える行政サービスを担当課と調整した。	○	次年度も継続して実施する。

## 基本目標2 誰もが安心できる暮らしの実現

### 基本施策(3) あらゆる暴力の根絶

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
23	暴力根絶に向けた啓発と情報提供の充実	福祉課	DVに関する啓発ポスターの掲示やカードを配架した。	○	DV等に関する気づきのため、啓発事業を継続して行う。
		地域支援課	4月の若年層の性暴力被害予防月間に、チラシを掲示した。広報菊川11月に暴力根絶に向けた記事を掲載した。		次年度も継続実施する。

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
24	犯罪被害者等支援 総合支援窓口の設置	地域支援課	ホームページに相談窓口の情報を掲載している。また、広報菊川11月号に特集を掲載して広く周知を図った。相談や支援の実績はなかった。	○	次年度も継続して周知を図っていく。
25	DVに関する正しい理解の促進	福祉課	DV相談利用者にDVに関する資料を配布した。	○	引き続き、被害者や相談者への資料を用いた説明を継続していく。
		地域支援課	4月の若年層の性暴力被害予防月間に、チラシを掲示した。広報菊川11月に暴力根絶に向けた記事を掲載した。		次年度も継続実施する。
26	DV相談の実施	福祉課	年間を通して広報菊川に掲載し相談窓口の周知を行い、相談事業を実施した。	○	次年度も継続して実施する。
27	被害者の自立支援	福祉課	DV被害者に対し、18件の相談受付を実施した。	○	自立に向けた支援を実施する。
28	警察、医師会、弁護士会等との連携	子育て応援課	関係機関と連携し、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底すると共に、DV被害者及び児童について支援対応を行った。	○	次年度も継続して実施する。
		福祉課	警察、医師会、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会とは、子育て応援課、地域包括支援センターとともに、必要に応じ随時連携を図っている。令和元年度からは要保護児童対策協議会に毎月参加することとしている。		今後も各機関との連携を図っていく。
		長寿介護課	警察、医師会、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会とは、子育て応援課、福祉課とともに、必要に応じ随時連携を図っている。		今後も各機関との連携を図っていく。
29	児童虐待防止対策の充実	子育て応援課	・要保護児童対策地域協議会を12回実施し、関係機関との情報共有及び支援内容等を検討した。また、関係機関向けに講演会を開催し、34人の参加があった。 ・保育園、幼稚園、小・中学校の保護者に対し、児童虐待防止啓発及び相談先窓口を記載したリーフレットを配布した。	○	・引き続き関係機関と連携を図り支援内容を検討する。また、研修会を11月に開催する。 ・児童虐待防止に関するリーフレットを配布すると共に相談先窓口の紹介を行う。
30	ハラスメント防止のための広報と意識啓発	地域支援課	市内事業所アンケートに「ハラスメント」の項目を追加し、啓発をした。	○	市HP等で周知していく。

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
31	職場におけるハラスメント防止の意識啓発	商工観光課	地域支援課から配信依頼のあった啓発情報等を市内企業へメールで配信した。	○	次年度も継続して実施する。
		総務課	6月14日課長会議にてハラスメント防止研修を実施した。		次年度も継続して実施する。

#### 基本施策(4) 生涯を通じた健康支援

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
32	性と生殖の健康・権利に関する啓発	子育て応援課	令和4年度は子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨が再開されたため、性感染症および子宮頸がんの予防を目的とした啓発が重要であったことから、「はたちの集い」で啓発パンフレットを配布した。	○	パンフレットの内容がワクチンの接種勧奨に重きをおいていたため、次年度は、健康な性をはぐくむためのからだの健康や妊娠に関する内容を加えて充実させていく。
33	小・中学校における性教育の推進・充実	学校教育課	学級活動、保健体育等で発達段階に応じた性に関する学習を行った。	○	発達段階に応じて学習内容に組み込めるよう計画的に行う。
34	思春期の健康教育の実施	子育て応援課	思春期講演会を以下の通り実施した。菊川市立総合病院産婦人科医師・助産師、市保健師を講師として市内中学校3校の各学年1回(計9回)、助産師および一部市保健師を講師に小学校8校(学年別内訳:2年生8校、4年生5校、5年生1校、6年生1校)実施した。小学校の開催数は過去最多であった。	○	引き続き、中学校、小学校において、思春期教育を開催する。小学校については、実施校が増えるよう、周知していく。また、市内教育現場では、学舎毎つながらのある教育を目指していることから、思春期教育においても、学舎毎で内容を検討していく。
35	不妊に関する啓発	子育て応援課	不妊・不育治療費助成のチラシをけやきに配架。令和3年度の申請があった医療機関に案内チラシなどを配布した。また、制度について広報菊川に1回記事を掲載した。	○	継続し、医療機関及び市民に制度の周知を実施する。
36	不妊・不育治療費助成事業	子育て応援課	不妊治療費助成は42件、不育治療費助成は1件の申請があった。	○	継続し、制度の周知を実施していく。
37	乳児家庭訪問	子育て応援課	新生児訪問及び乳児訪問を実施した。訪問対象341人、実施人数328人(実施率96.2%)	○	次年度も継続して実施する。

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
38	女性特有の病気を 含めた各種検診	健康づくり 課	5大がん検診の受診者数は 11,301人であった。レディース デー(託児対応可)を3日間設 定し、実施した。託児希望は12 人あり、すべて受け入れること ができた。	○	引き続き、子育て世代が受 診しやすい環境を整えてい く。
39	健康に関する相談 窓口	健康づくり 課	定例の健康相談を11回、健康 チェックの日を1回、ミニ健康 チェックの日を3回実施し、健康 に関する相談日を設定した。ま た、随時、電話や来所にて相談 を受けた。	○	定例の健康相談9回、健康 チェックの日を3回計画し、9 回のうち5回は地区センター 等に出向いての相談日を設 け、利用しやすい体制を整 える。
40	成人健康教育	健康づくり 課	出前行政講座を5回、市民向け の講演会を2回実施した。健康 づくり推進委員へも健康に関す る研修会を実施した。	○	出前行政講座の内容を見 直し、市民が利用しやすい 講座を企画していく。
41	こころの健康に関す る啓発及び支援	健康づくり 課	自殺予防週間に合わせ、啓発 キャンペーンを3回、その他市 内事業所へ9か所へ啓発グッ ズの配布や相談窓口一覧の配 布を行った。また、図書館での 展示コーナーを設け啓発を行っ た。	○	引き続き、様々な機会を通 じて啓発を行っていく。
42	生涯学習活動の推 進	社会教育 課	ステップアップ講座は5回連続 講座を18講座、1回完結型講 座を6講座企画した。17講座に 延べ233人が参加した。いきいき カレッジ菊川は2会場合計で31 人が参加した。	○	ニーズにあった講座の企画 や、情報発信方法の工夫を 行う。
43	介護予防普及啓発 事業の実施	長寿介護 課	①介護予防普及啓発事業 97 回 ②地域介護予防活動支援事業 80回 ③地域リハビリテーション活動 支援事業 13回 ④高齢者の保健事業と介護予 防の一体的実施事業 21回	○	次年度も継続して実施す る。
44	地域介護予防活動 支援事業の実施	長寿介護 課	①介護予防リーダー養成講座 12回 ②介護予防リーダーフォロー アップ研修等 5回 ③介護予防教室等運営補助 54回 ④リハビリ専門職の地域サロ ンへの派遣指導 13回	○	次年度も継続して実施す る。
45	民生委員・児童委員 による高齢者世帯 の見守り	福祉課	訪問対象者人数 2,820人(障 がい者等含む) うち一人暮らし高齢者 528人 月2回以上訪問 11人 月1回以上訪問 91人	○	次年度も継続して実施する

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
46	高齢者世帯への支援	長寿介護課	民生委員・児童委員との連携については、日頃の相談や訪問の際、状況に応じ協力しながら高齢者の支援を行っている。高齢者見守り協力機関・団体に対しては高齢者見守り情報！「みんなの目」を年4回発行し、認知症や実際の事例紹介などの情報提供を行った。	○	民生委員・児童委員とは、今後も連絡会・情報交換会を開催し、顔の見える関係をつくり連携を密にしてい く。 高齢者見守り協力機関・団体には、情報提供を継続するとともに、協力機関・団体の増加についても取り組んでいく。

### 基本施策(5) 様々な困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
47	ひとり親家庭等の相談支援	子育て応援課	相談支援の実施をした。	○	次年度も継続して実施する。
48	児童扶養手当事業	子育て応援課	延べ2,712人、106,321,890円を助成した。	○	次年度も継続して実施する。
49	ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て応援課	延べ3,483件、8,781,171円を助成した。	○	次年度も継続して実施する。
50	自立支援給付金事業	子育て応援課	自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練促進給付金の事前相談を受け、高等職業訓練促進給付金については、1件564,000円を支給した。	○	次年度も継続して実施する。
51	要保護・準要保護児童生徒の世帯に対する就学援助	教育総務課	対象となる要保護・重要保護児童生徒に支給を行った。 引き続き就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品等の援助を行う。 要保護児童生徒：対象者なし 準要保護児童生徒：小学校・104人、中学校・68人（令和4年3月31日現在） 今年度も引き続き、新小学1年生及び新中学1年生に対し入学前支給を行った。 新小学1年生・16人 新中学1年生・19人	○	就学援助制度の周知徹底を引き続き行うとともに、適正な支給基準について研究をする。
52	認知症サポーターの養成	長寿介護課	認知症サポーター養成講座を16回、ステップアップ講座を2回行った。	○	今後も継続していく。

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
53	外国人住民への支援	地域支援課	行政文書の多言語化に加え、外国人相談窓口での相談対応、情報提供を実施した。また初期日本語教室を開催し、日本語の習得を図るとともに多文化共生の場を提供した。	○	継続して実施する。

### 基本目標3 誰もが活躍できる家庭・職場・地域の実現(ワーク・ライフ・バランスの実現)

#### 基本施策(6) 男性にとっての男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
54	男性が家事・育児・介護等に参加するための情報提供	地域支援課	広報菊川に、健康づくり課が実施している「男性の料理教室」の記事を掲載した。	○	次年度も継続して実施する。
55	男性が家事・育児・介護等に参加するための講座等の開催	健康づくり課	男性の料理教室(全5回)を実施し、10人が参加した。	○	引き続き、男性の料理教室を実施し、男性の家事参加を促していく。
		子育て応援課	離乳食教室を14回(うち2回は定員超えによる追加日)実施し、100人の参加があった。うち父親の参加は11人で前年度に比べて増加した。		次年度も継続して実施する。
		長寿介護課	介護者のつどいを3回開催するにあたり、チラシを配布し呼びかけた。		今後も年3回、男性も参加しやすい内容を検討し、継続して実施し、参加を呼びかける。また、出前行政講座や相談などで、介護・育児休暇について周知し、取得を促す。
56	プレママ&パパサロンの実施	子育て応援課	参加者の増加に伴い、年4回で実施していた教室を令和4年度から年6回に増やした。143人が参加し、夫婦での参加は71組あり、全体の98.6%であった。	○	内容について、ニーズ把握に努め、随時見直しをしていく。
57	絵本を通じた子育ての参加促進	図書館	ブックスタート事業(各館月1回年24回)、すいようおはなし会(各館週1回年101回)、0・1・2おはなし会(菊川月2回小笠月1回年36回)、日曜おはなし会(各館月1回年24回)を実施した。大人を対象とした赤ちゃん絵本のブックトークは小笠図書館において1回開催し4組の参加を得た。	○	次年度も同様に取組む。
58	男性に対する相談体制の周知	地域支援課	市ホームページ及び広報菊川へ県の相談窓口を掲載した。	○	次年度も継続して実施する。
59	市男性職員の育児参加のための休暇取得の促進	総務課	対象者に対して休暇取得が促進されるよう個別の声かけを実施した。	○	次年度も継続して実施する。

## 基本施策(7) 家庭における男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
60	幼児教育・保育サービスの充実	こども政策課	・小規模事業所1園(あいキッズランド カルガモ園)の認可を実施した。 ・認定こども園1園(ひがしこども園)の保育定員を見直し、受入れ人数を増やした。	○	次年度も継続して実施する。
61	延長保育及び放課後児童クラブの実施	こども政策課	・延長保育事業について、市内園13か所にて実施した。 ・放課後児童クラブについて、市内小学校9か所において実施した。	○	次年度も継続して実施する。
62	リフレッシュ・一時保育の充実	こども政策課	・市内11園において、事業を委託し実施した。また、おおぞら認定こども園・菊川保育園・愛育保育園については、一時預かり事業専任職員を配置し少しでも多くの方が利用ができる体制づくりをした。 ・けやき子育て相談窓口にて申請受付を行い、延べ757件の利用があった。	○	今後も事業を継続するため各園と調整をとり事業を実施する。
63	ファミリーサポートセンターの利用促進	子育て応援課	市ホームページで周知、パンフレット配布などを行い、延べ56件の利用があった。現在依頼会員62人、提供会員19人、両方会員5人の登録がある。(令和5年3月末)	○	次年度も継続して実施する。
64	こども医療費の助成	子育て応援課	延138,296件、197,688,701円の助成をした。	○	次年度も継続して実施する。
65	健やかな発達支援	子育て応援課	感染症対策を講じながら、親子ふれあい教室・就園児療育教室(計96回)や幼児相談(184件)、随時の個別相談の対応等を実施して、対象児や保護者への継続的な支援を行った。	○	教室内容・相談対応の質の向上に努める。関係機関と連携をしながら、切れ目のない支援を出来るようにしていく。
		福祉課	事業が周知・認知されたことや、事業所の増加により利用者数が増加傾向にある。(支給決定者数:161人)		次年度も継続して実施する。
66	家庭児童相談の実施	子育て応援課	相談窓口の周知を継続し、相談実人数は136人であった。(令和5年3月末)	○	引き続き関係機関と連携を図り、相談対応していく。
67	児童館・子育て支援センターの事業の充実	子育て応援課	利用者のニーズを把握し、事業内容の充実を図った。	○	次年度も継続して実施する。

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
68	子育てサークルの支援	子育て応援課	児童館と連携し、活動場所の提供や、県の子育て情報サイトへ情報提供を行った。	○	次年度も継続して実施する。
69	地域で子どもを育てる環境づくりの推進	学校教育課	各学校において食育体験等活発に地域と交流することができた。	△	令和6年度コミュニティスクール導入に向け、今年度以上に地域連携が活発になるよう学校に啓発活動を推進していく。
		社会教育課	放課後子ども教室は感染対策のため9小学校中2校で開催した。ボランティア体験活動は中高生を対象とし、年2回の情報発信を行った。		放課後子ども教室の全校再開に向け地域との話し合いを行う。
70	介護相談や介護に関する情報提供等の実施	長寿介護課	介護者のつどいを3回開催した。	○	今後も年3回継続して実施する。
71	介護サービスの提供	長寿介護課	被保険者証送付時にチラシを同封する等市民への周知に努め、申請者に対し介護者手当の支給を3回/年行った。事業所連絡会を開催すると共に、実地指導を7件行い、事業所へ情報共有を行った。	○	引き続き、介護サービスの周知に努め、介護者の負担軽減を図っていくと共に、事業所への情報共有を行っていく。
72	介護マークの普及・啓発	長寿介護課	出前行政講座や相談窓口等で介護マークを紹介し2枚配布した。	○	必要な方に行き渡るよう、今後も窓口や各種講座等でも市民に周知していく。

### 基本施策(8) 職場における男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
73	女性向け就労・就業支援セミナー等の開催	商工観光課	令和4年8月から令和5年2月にかけて、女性就労・就業支援事業を実施し、延べ69人が参加、うち5人が就業した。	○	次年度も継続して実施する。
74	女性向け就労・就業相談窓口の開設	商工観光課	令和4年4月から令和5年3月にかけて、毎月1回なでしこワークを開催し、計271人が利用した。開催時には、キッズスペースを設置した。	○	次年度も継続して実施する。
75	事業所への男女共同参画の意識啓発	商工観光課	地域支援課から配信依頼のあった啓発情報等を市内企業へメールで配信した。	○	次年度も継続して実施する。
		地域支援課	事業所アンケートに男女共同参画社会づくり宣言のチラシ等を同封し啓発をした。	○	次年度も継続して実施する。
76	男女共同参画社会づくり宣言事業所登録の促進	地域支援課	事業所アンケートに男女共同参画社会づくり宣言のチラシ等を同封した。	○	次年度も継続して実施する。

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
77	家族経営協定の締結の促進	農林課	家族経営協定締結家族増加に向け制度を啓発し、2件の新規締結を行ったため、家族経営協定締結数は増加した。	○	引き続き家族経営協定の締結を促進していく。
78	市役所の働き方改革の推進	総務課	法整備をし、希望者についてはテレワーク勤務を行った。	○	次年度も継続して実施する。 電子申請システムの機能を拡充し、電子申請が可能な手続きを増加させることで、業務の効率化を図っていく。
		企画政策課	ICTを活用した業務の効率化(RPA導入など)について、新たなビジネスチャットツールの導入により、時間や場所を選ばず打合せや意見交換ができるようになった。他自治体の職員とも情報交換が可能になり、業務の精度を高めることができた。また、電子申請が可能な手続きが増加し、窓口対応時間を短縮した。		
79	市職員を対象とした研修などの実施	総務課 企画政策課 地域支援課	6月14日課長会議にてハラスメント防止研修を実施した。 市職員向けに性の多様性研修を実施した。	○	次年度も継続して実施する。
80	育児休業職員の職場復帰支援	総務課	育児休業者への情報提供を毎月実施した。	○	引き続き育児休業者への情報提供を1回/月実施する。

### 基本施策(9) 地域社会における男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
81	地域活動における女性の参画の推進	地域支援課	連合自治会において、翌年度の自治会役員選出依頼時に女性登用のお願いをした。	○	自治会長に限らず自治会には各種役員があることから、少しでも多くの女性が登用されるよう啓発をしていく。
82	地域活動に参画する人材の育成	地域支援課	市民協働団体向けのスキルアップ講座及びコミュニティ協議会懇話会、人材育成講座として「きくがわ高校生まちづくりスクール」及び「きくがわ未来塾」を開催(市民協働センター委託事業)	○	引き続き、地域活動に参画する人材やリーダーの育成のため講座を開催する。
83	誰もが参加しやすい地域活動の推進	地域支援課	会議等の開催について、平日の夜間や土日に開催する講座を実施した。	○	次年度も継続して実施する。
84	男女共同参画を推進する新たな取り組みの推進	地域支援課	令和4年度1%地域づくり交付金の行政提案型課題において、男女共同参画の推進を定め、やなぎ文庫から申込みがあった。男女共同参画のイベントを合同で実施した。	○	引き続き、新たな取り組みの発掘や、実施支援を行う。

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
85	地域活動への円滑な参画の促進	地域支援課	新たな市民活動の拠点として、庁舎東館多目的エリアを多くの市民や団体にPRした。また、施設利用や市民協働センターへの相談をきっかけに、新たな取り組みが生まれ、市民の「やりたい・やってみたいこと」の実現につなげた(市民協働センター委託事業)。	○	次年度も継続して実施する。
86	地域活動や自治会などの負担軽減	地域支援課	庁内連携事業として取り組み、自治会の負担軽減に向けた取組方針(庁内ルール)を策定した。全庁に周知し市として負担軽減に取り組んでいく。	○	連合自治会や自治会にも協力していただき、継続して負担軽減に努めていく。

### 基本施策(10) 防災における男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
87	男女共同参画の視点による防災活動の啓発や情報提供	危機管理課	防災講演会を実施した。	○	女性目線の避難所運営や避難所生活での課題を講師体験談のもと分かりやすく教えていただいた。次年度は違う女性講師に出席いただき新たな視点で講話してもらいたい。
88	性別によるニーズの違いに配慮した備蓄品などの配備	危機管理課	「菊川市防災備蓄計画」に基づき、女性に配慮した備蓄品目(生理用品等)を購入した。	○	備蓄の目標に沿って、備蓄量を達成するよう努める。社会情勢や防災会議に参加した女性からニーズ調査を行い、適宜見直しを図る。
89	防災分野における女性の参画推進	消防総務課	市内の幼稚園、保育園及びこども園に赴き防火指導を18回実施した。 消防署員と共に、消防団員や市内事業所等に対し、普通救命講習の講師として救急指導に28回従事した。 予防課職員と火災予防広報として市内4事業所で街頭広報を行った。	○	女性消防団員の活動の充実及び広報誌やSNSを用いたPR活動により入団促進を図るとともに、負担軽減についても検討し、更なる防災、応急手当の普及啓発活動を実施する。
		危機管理課	地区防災連絡会や各地区の防災会議等を通じて女性の訓練参加を推進した。		コロナによる訓練規模縮小も緩和していくため、地域会議での積極的な開催に併せ、女性の参加や役員選出に注視していく。
90	女性の防災リーダーの育成や活動の啓発	危機管理課	防災訓練の事前会議で、女性参加の必要性を説明し、参加を呼び掛けた。	○	同様に伝えていきたい。

## 基本目標4 あらゆる分野における女性の参画拡大(女性活躍のさらなる推進)

### 基本施策(11) 女性の政策や方針決定過程への参画拡大【重点】

ID	事業名	担当課	令和4年度実施報告	評価	令和5年度に向けた見直し
91	市の審議会等への女性委員の登用促進	地域支援課 全課	審議会等への女性委員の登用状況を把握する調査の実施した。審議会等所管課へヒアリングと提案した。	○	課長会議や庁内通知にて女性委員の登用促進依頼をする。
92	市女性職員の管理・監督職への登用促進	総務課	職員令和5年度昇任・昇格者 部長昇格者 2人中女性0人 課長昇格者 5人中女性0人 主幹昇格者 6人中女性1人 係長昇任者 9人中女性8人	○	引き続き資質を有する職員について、管理職・監督職への登用を図る。
93	女性の活躍事例などの情報提供	営業戦略課	スポーツや文化、地域活動などで活躍した女性について、広報紙や市HP、SNS等で発信した。	○	引き続き様々な分野での事例について活躍する女性を積極的に情報発信する。
		地域支援課	小学生への職業講話で講師を務めている女性消防士、警察官、バスの運転手などからコメントをもらい、チラシにまとめた。		作成したチラシを小学生への職業講話などで配布していく。
94	企業などへの女性の登用促進についての情報提供と啓発	地域支援課	事業所向け男女共同参画アンケートを通じた情報提供を行った。現状を把握するために商工会へヒアリングを実施した。	○	次年度も継続して実施する。
95	女性が起業するための支援	商工観光課	令和4年8月24日と31日に創業支援セミナーを開催し、延べ9人(うち女性は3人)が参加した。	○	次年度も継続して実施する。
96	農業分野における女性の参画の推進	農林課	ファームプランの会に対し、講習会当活動支援を実施した。新規就農の相談は女性4人に対応し、うち1人が認定新規就農者を取得し、令和5取得予定1人、相談継続が1人、となっている。	○	女性を含む就農者の増加に向け、農業者紹介パンフレットを作成し、就農相談に活用する。。
97	様々な分野で活躍する女性の情報収集	地域支援課	各課が所有するする女性人材を把握した。	○	次年度も継続して実施する。
98	若者へのキャリア教育の実施	企画政策課	高校生自らが地域課題について取り上げ、解決策について研究する高校生ふるさとセミナー事業を市内の高校とともに実施した。令和5年1月には、高校生が1年間取り組んだ成果を発表する場として高校生まちづくりプレゼンテーション大会を開催した。	○	高校生が考える課題やテーマについて、市関係課も協力していくことで、発表内容の質を向上させるとともに、市の施策形成の参考としていく。
		社会教育課	市内3中学校でふるさと未来塾を開催した。市内の企業等延べ21団体に協力いただき、生徒388人が参加した。		新規参加企業の声掛けを行う。

## 第4次菊川市男女共同参画プラン 令和4年度 指標進捗状況

◆計画期間: 令和4年度～令和8年度

### 基本目標1 男女共同参画社会実現に向けた基盤の整備

#### 基本施策(1) 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
1	成果指標	「男は仕事、女は家庭」という考えについて「反対である」「どちらかといえば反対である」と答える人の割合の合計(男女共同参画市民アンケート)	地域支援課	57.4%	-			-			74.4%
2	活動指標	男女共同参画に関する広報・HP等への年間掲載回数	地域支援課	13回	14回			14回			15回

#### 基本施策(2) 多様な価値観、人権と性を尊重する意識づくり

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
3	成果指標	男女が個人として尊重され、ともに個性や能力を発揮できるまちだと思ふ人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	地域支援課	57.1%	56.9%			62.3%			64.0%
4	活動指標	人権教室の実施回数	市民課	4回	4回			5回			5回

### 基本目標2 誰もが安心できる暮らしの実現

#### 基本施策(3) あらゆる暴力の根絶

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
5	成果指標	セクハラ・パワハラを受けた人の割合(男女共同参画市民アンケート)	地域支援課	10.8%	-			-			8.1%
6	成果指標	暴力を受けたことがある方のうち、これまでに暴力について誰かに打ち明けたり、相談したことがある人の割合(男女共同参画市民アンケート)	地域支援課	68.6%	-			-			71.3%
7	活動指標	あらゆる暴力根絶に向けた啓発の件数	福祉課 地域支援課	1回	2回			3回			3回

#### 基本施策(4) 生涯を通じた健康支援

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
8	成果指標	健診や健康相談など病気の予防対策が充実していると思う人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	健康づくり課	66.0%	67.2%			74.8%			76.0%
9	活動指標	5大がん検診の受診者数	健康づくり課	11,425人	11,301人			11,820人			11,830人
10	活動指標	介護予防普及啓発事業の実施回数	長寿介護課	151回	211回			151回			151回

#### 基本施策(5) 様々な困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
11	成果指標	障がいのある人が安心して暮らしていけるまちだと思ふ人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	福祉課	49.2%	49.1%			57.3%			59.0%
12	活動指標	認知症サポーターの養成人数(延べ)	長寿介護課	4,111人	4,523人			5,253人			5,853人

### 基本目標3 誰もが活躍できる家庭・職場・地域の実現(ワーク・ライフ・バランスの実現)

#### 基本施策(6) 男性にとっての男女共同参画の推進

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
13	成果指標	「仕事、家事、育児、介護について男女がどのようにかかわるべきだと思いますか」の問いに対し、「男女ともに職業を持ち、家事・育児・介護は男女で分担する」と回答した男性の割合(男女共同参画市民アンケート)	地域支援課	77.9%	-			-			88.7%
14	成果指標	市男性職員の育児休業取得率	総務課	0.0%	0.0%			10.4%			13.0%
15	活動指標	プレママ&パパサロンの開催回数	子育て応援課	3回	3回			4回			4回

#### 基本施策(7) 家庭における男女共同参画の推進

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
16	成果指標	安心して子どもを育てられるまちだと思う人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	子育て応援課	82.0%	78.0%			87.4%			88.0%
17	成果指標	高齢者とその家族を支える介護サービスが充実していると感じる人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	長寿介護課	60.0%	56.0%			64.9%			66.0%
18	活動指標	子育て支援センターの利用者数	子育て応援課	29,734人	27,422人			62,000人			67,700人

#### 基本施策(8) 職場における男女共同参画の推進

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
19	成果指標	男女共同参画社会づくり宣言事業所の団体数	地域支援課	26団体	29団体			32団体			35団体
20	活動指標	事業所への男女共同参画の啓発件数	地域支援課	3回	3回			3回			3回

#### 基本施策(9) 地域社会における男女共同参画の推進

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
21	成果指標	家庭における夫婦の役割分担の現状について「地域行事への参加」夫婦が共同で行っている場合の割合(男女共同参画市民アンケート)	地域支援課	79.5%	-			84.5%			86.7%
22	活動指標	男女共同参画推進に関する活動を行う市民団体数	地域支援課	7団体	8団体			9団体			10団体

#### 基本施策(10) 防災における男女共同参画の推進

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
23	成果指標	避難所運営委員会における女性の割合	危機管理課	11.3%	10.2%			上昇			上昇
24	活動指標	男女共同参画の視点を含んだ防災講演会や講座などの開催回数	危機管理課	3回	4回			3回			4回

### 基本目標4 あらゆる分野における女性の参画拡大(女性活躍のさらなる推進)

#### 基本施策(11) 女性の政策や方針決定過程への参画拡大【重点】

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
25	成果指標	市の審議会等委員に占める女性の割合	地域支援課(各課)	26.4%	28.4%			30.4%			33.0%
26	成果指標	市の係長級における女性職員の割合	総務課	18.5%	28.7%			23.7%			25.0%
27	活動指標	女性就労支援事業の就労相談窓口の開催件数	商工観光課	10回	12回			12回			12回